

8-4-41 品質委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

会員企業の品質確保・向上に資する活動を所掌する委員会として、設計エラーの実態把握、エラー防止に向けた品質確保・向上策の提案、会員企業の意識啓発、発注者への改善要望等を主な活動目的としている。

(2) エラー事例収集とデータベース化

照査特別 WG では、平成 12 年度から設計エラー事例を収集しており、今年度までに 9 分野で 2,853 事例が集まっている。これらを検索できるデータベースを更新し、会員が利用できる資料として配布した。

またこの利活用として、生成 AI を用いたチャットボットによる検索システムを構築して試行を行い、有効性を確認したうえで、次年度本格運用に向けて要望・課題に対する機能開発・改良方針を整理した。

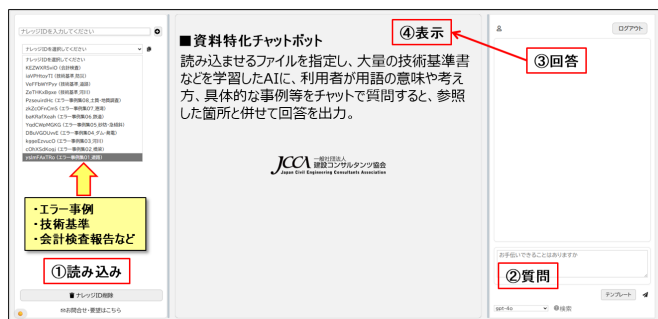


図. 建コンチャットボット システム画面

(3) 品質確保向上策の実態調査

品質向上専門委員会では、国交省が推進している以下の品質確保向上施策の実施状況を、会員企業へのアンケートにより調査・分析し、問題点・課題を整理した。

①詳細設計照査要領、②赤黄チェック、③照査技術者による照査報告、④業務スケジュール管理表、⑤ワンデーレスポンス、⑥条件明示チェックシート、⑦合同現地調査、⑧三者会議

(4) 品質確保向上策の改善検討

エラー事例から整理したエラーの発生要因と各種品質確保向上策の関係を整理するとともに、

品質確保向上策の実効性を高めるための改善策を検討した。

(5) 品質向上推進ガイドライン活用ツールの更新

平成 23 年 7 月発行の品質向上推進 GL を見直し、活動成果や収集したエラー事例を活用した GL 活用ツール作成し、これを加えた GL 改訂版を令和 4 年 9 月に発行しており、会員に周知するとともに、追加されたエラー事例を反映して更新し、協会ホームページに公開した。

(6) 会員企業の意識啓発

品質セミナーを開催し、会員企業の品質確保向上に対する意識向上を図った。

品質セミナーは集合形式からオンライン形式に変更して 6 回目となり、10 月 20 日～11 月 7 日の 19 日間で参加者は全体で 2,439 名と前年度に比べて約 10%増加し、講義内容および説明に関し高い評価を継続できた。

また、最新事例や他業種の品質管理等の現状を知る品質向上講習会を 6 月 24 日に開催し、得た知見はセミナー資料にも反映した。

(7) 発注者への要望と提案

以上の活動成果については、常任委員会、技術部会、未来塾対応 WG で報告・審議するとともに、令和 7 年度「要望と提案」へ反映し、また令和 8 年度「要望と提案」の作成を進めている。

2. 次年度の活動

品質セミナーの Web 開催を次年度も企画するが、参加者数増加や満足度向上のため、開催案内・周知やビデオ配信の工夫、講演内容の更なる充実などを図る。また品質向上講習会は、従来と同様に外部講師を招いて 6 月開催とし、企画・準備する。

なお、エラー事例については新たに都市計画・環境分野を加えて収集し、エラーの実態を整理・分析して品質確保策の改善提案を継続し、GL 活用ツールや条件明示チェックシートなどの利用を推進するとともに、チャットボットによる検索システムの会員へのサービス提供については、7 月開始予定として準備を進める。

(品質委員会委員長 藤木 明)